

＜著者と語る・サイエンス読書カフェ 12月18日＞

「人生、山あり“時々”谷あり」（田部井淳子さん著）

＋ 「ピッケルと口紅」（北村節子さん著）

著者、田部井淳子さん、北村節子さん：語り部、北村節子さん

女性が初めて世界最高峰のエベレストに登頂した1975年から、今年はちょうど50年です。挑んだのは、エベレスト日本女子登山隊、登頂者はその登攀隊長だった田部井淳子さん(1939-2016)でした。当時、読売新聞記者だった北村節子さんは、会社を休職して登山隊員のひとりとして遠征隊に参加。その後も生涯にわたって、写真の「アイガー山頂 二人合わせて101歳」など、田部井さんと様々な登山活動を共にしてきました。このほど、お二人の本が文庫本として出版されました。今回のカフェでは、この2冊を手がかりに、ヒマラヤ、女子登山隊、田部井淳子さん、そして二人の山旅について、北村節子さんに語っていただきます。

日時;2025年12月18日(木)午後6時15分から

場所;東京・大手町、読売新聞本社3階、新聞教室(地下鉄・大手町駅C-3出口)

今回も、会場と、オンラインの両方を使って開催します。

参加費;会場2000円、オンライン1800円

問い合わせ;よみうりカルチャー大手町スクール事務局 (03-3642-4301)

会場受講 <https://www.ync.ne.jp/otemachi/kouza/202510-18011601.htm>

オンライン受講 <https://www.ync.ne.jp/otemachi/kouza/202510-18011602.htm>

